

「赤ちゃん学入門講座 ～ヒトのはじまりを科学で探る～」

異分野研究を連携、融合させ、ヒトのはじまりである赤ちゃんの発達を科学的に解明しようとする新しい学問分野『赤ちゃん学』は、その研究成果を赤ちゃんの育つ現場や、「人」の成り立ちを知ろうとする方々に還元するところまでを目的とします。保育や育児、あるいは人にかかわるすべての人にヒントとなる発達の基礎に関する新しい知見を、それぞれの専門分野から学びます。

赤ちゃん学とは

ヒトのはじまりである赤ちゃんの運動・認知・感覚・言語および社会性の発達とその障害のメカニズムの解明からヒトの心の発達までを対象とする学問。発達という連続する変化を総合的に、そして多面的な視点からとらえるため、多様な研究分野が協力、共同して研究を進めています。

- | | | | | | |
|------|-------------------------|------------|---|---|---|
| 第1回 | 5月13日(土)
13:30～15:00 | 赤ちゃんの「触る」 | 発達の中で自己の身体認知や運動発達に係る重要な触覚に配慮する育児や保育について考えます。 |  | 小西 行郎 こにし ゆくお
同志社大学 赤ちゃん学研究センター長/教授
小児科医、日本赤ちゃん学会理事長 専門は小児神経学 |
| 第2回 | 5月13日(土)
15:10～16:40 | 赤ちゃんの「聞く」 | 音を「聞く」脳の仕組みや、言語や音楽の知覚、発達における聴覚の役割についてお話をします。 |  | 藤井 進也 ふじい しんや
慶應義塾大学 環境情報学部 専任講師
京都大学博士(人間・環境学) 専門は音楽神経科学 |
| 第3回 | 5月27日(土)
13:30～15:00 | 赤ちゃんの「見る」 | 最新の知覚発達と脳科学の研究を紹介しながら、赤ちゃんが見える世界の発達初期過程を概説します。 |  | 山口 真美 やまぐち まさみ
中央大学 文学部心理学研究室 教授
日本赤ちゃん学会事務局長で日本顔学会理事 |
| 第4回 | 5月27日(土)
15:10～16:40 | 赤ちゃんの「食べる」 | 赤ちゃんがさまざまなものを食べるようになっていく過程についてお話をします。 |  | 上野 有理 うえの あり
滋賀県立大学 人間文化学部 准教授
食発達をテーマに研究・実践に励む 博士(理学) |
| 第5回 | 6月10日(土)
13:30～15:00 | 赤ちゃんの「学ぶ」 | 赤ちゃんにとっての学びの意味、今のところわかっている学びのメカニズムについてお話をします。 |  | 乙部 貴幸 おとべ たかゆき
仁愛女子短期大学 幼児教育学科 准教授
筑波大学大学院博士課程心理学研究科修了 博士(心理学) |
| 第6回 | 6月10日(土)
15:10～16:40 | 赤ちゃんとつながる | 幼少期のアタッチメントが、子どもの心身の発達に果たす大切な役割について概説します。 |  | 遠藤 利彦 えんどう としひこ
東京大学 大学院 教育学研究科 教授
専門は発達心理学・感情心理学 博士(心理学) |
| 第7回 | 6月17日(土)
13:30～15:00 | 赤ちゃんの「話す」 | 赤ちゃんがあっという間に言葉を獲得するメカニズムを、実証的な研究を紹介しながら細解します。 |  | 麦谷 綾子 むぎたに りょうこ
NTT コミュニケーション科学基礎研究所 主任研究員
博士(学術) 専門は音声言語発達 |
| 第8回 | 6月17日(土)
15:10～16:40 | 赤ちゃんと睡眠 | 胎内のリズムに合わせていた赤ちゃんに、地球で生きてゆくリズムを教えるのは大人の大事な役割です。 |  | 三池 輝久 みいけ てるひさ
熊本大学 名誉教授
子どもの体内時計と発達との関係について研究継続中 |
| 第9回 | 7月1日(土)
13:30～15:00 | 進化に学ぶ子育て | 人間の赤ちゃんの心とからだは生物進化の産物です。健やかに育む社会文化を築きましょう。 |  | 竹下 秀子 たけした ひでこ
滋賀県立大学 人間文化学部 教授
2006年から現職。主著「赤ちゃんのてとまなざし」 |
| 第10回 | 7月1日(土)
15:10～16:40 | 赤ちゃんと環境 | 現在の保育環境は実に多種多様です。赤ちゃんにとって最も必要な環境条件を考えます。 |  | 志村 洋子 しむら ようこ
同志社大学 赤ちゃん学研究センター 嘱託研究員
博士(教育学) 専門は乳幼児の歌唱音声の発達研究 |

開催概要	
回数: 10コマ 土曜日開催1日2コマ	定員: 100名
時間: 13:30～15:00、15:10～16:40	資料: 当日講師より配布いたします
受講料: 一括のみ 30,000円	

*法人で受講される場合:1法人につき1名が受講できます。

「グローバル時代を読む ～目指すは経済名探偵～」

グローバル時代といわれ久しい。グローバル化の反動が世界各所で起こっている。では、グローバル時代とはどのような時代なのか。日々世界で人々が繰り広げる事件、事象はグローバル時代の何を現しているのか、そしてどこに向かうのか。この謎解きへの挑戦は、本講座がめざす「経済名探偵」への一歩です。謎解きを可能にする力を身につけ、経済を通じて世の中の真相をつかむ力をつけましょう。

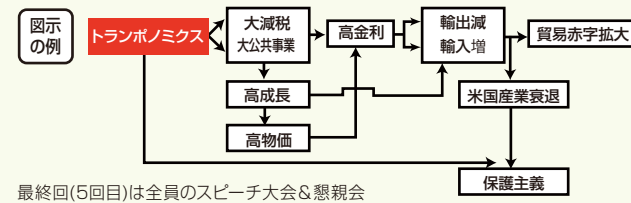
- | | | | | |
|------|------|------|------|------|
| 第1回 | 第2回 | 第3回 | 第4回 | 第5回 |
| 5/15 | 6/19 | 7/19 | 8/21 | 9/19 |
| 月 | 月 | 水 | 月 | 火 |

5回を通じて身につける「謎解きの技」

- 1、数字が語る経済物語の読解力
- 2、人びとが語るグローバル時代の物語のウソ発見力
- 3、経済情報から真相をつかむ力
- 4、常識とされている中から非常識を見破る力

講座の流れ

毎回の講義は、その折々の「トピック」「事象」から一つをテーマとし、皆さんと共にその背景、歴史的位置付けや関係プレーヤーの役割、関連事項との関係性を「図解」的に示し解明していきます。(2016年秋季学期謎解きを行ったテーマ:第2回仮想通貨 第3回働き方改革) 1～4回の終了時に次回のテーマと関連資料をお渡しします。次回に向けての宿題です。宿題は、お渡しした記事や資料を徹底的に読み解いていただき、テーマをめぐる因果・連関関係を皆さんが図示していただくことです。当日は、追加資料を配布し、各自の発表(質問を含む)後、受講生全員でその現象の解明と先行きを議論します。



最終回(5回目)は全員のスピーチ大会&懇親会 磨いてきた「謎解き力」の発揮をしていただけます。これまでの受講生も参加し、経済名探偵仲間との交流を図ります。
*本講座は同志社大学大学院ビジネス研究科 浜教授の講義と同じスタイル、テーマで行います。

「昭和史と平成という時代 その4 ー歴史としての太平洋戦争ー」

太平洋戦争の開始から76年、この戦争も歴史の段階に入った。同時代の解釈とは別に歴史上の見方が示されることになった。善悪や好悪の感情は別にして、この戦争は人類史の上ではどのように語られるのだろうか。その内容を改めて検証してみたい。現在、次代の研究者たちの見方は、「日本の侵略戦争」「日本の防衛戦争」、あるいは、「第二次世界大戦の一面」などに分けられるようだが、しかしその分析を見ていくとまったく新しい見解もでてくる。この戦争をどのように捉え、そして次代に伝えていくかは、あの戦争体験世代にとってもっとも重要なことである。

- | | |
|------|--|
| 第1回 | この戦争の本質は何か |
| 4/21 | 太平洋戦争の本質については、これまでも論じられてきたが、改めて歴史の視点に立てば、この戦争は当事者の意思を超えて検証される面もある。そのことを詳述することで私たちはそれぞれ自らの戦争観を確立していかなければならない。 |
| 第2回 | この戦争の責任は誰にあるのか |
| 5/19 | 戦争は政治家や軍人たちだけでは行えない。国民の支えが必要である。太平洋戦争の時代、国民はなぜ自らの生命と財産を賭してあの戦争に突入していったのか。そのことを確かめることで、<軍事>が未消化のまま近代に入ったこの国の弱点は見えてくる。 |
| 第3回 | 兵士たちはいかに戦ったか |
| 6/9 | 日本軍の兵士たちは軍事指導者たちの無策と無責任のゆえにきわめて苛酷な状況で戦わされた。240万人の将兵・軍属が戦死したといわれるが、その7割は餓死という報告まである。兵士たちはなにゆえにこの無謀な戦争のもとで戦ったのだろうか。 |
| 第4回 | 昭和の戦後社会での戦争観 |
| 7/14 | 戦後社会では日本軍のあまりにも無計画で杜撰な戦争指導は数多く告発されたが、それが永續性をもたなかったのはなぜか。戦争を見つめる目が時代と共に変化していったが、しかしそこには何か重要な視点が欠落していたのである。それを提示したい。 |
| 第5回 | 平成という時代の太平洋戦争論 |
| 8/25 | 平成に入って、太平洋戦争はどう見られているか、そのことを具体的に確かめる。この戦争の本質や真実は正確に伝わっているか、何が欠けているのか、そのことを確かめることによって、私たちの太平洋戦争を見つめる視点が広がっていきであろう。 |

講師 **はまのりこ 浜 矩子**



同志社大学大学院
ビジネス研究科 教授

1952年東京生まれ。1975年一橋大学経済学部卒業。1990年三菱総合研究所ロンドン駐在員事務所初代所長兼駐在エコノミスト1998年三菱総合研究所主席研究員・経済調査部長。2002年秋より現職。専門は「国際経済学」「国際金融論」「欧州経済論」

近著:『大メディアの報道では絶対にわからない ドアホノミクスの正体』(講談社+α新書/2016)『浜矩子の歴史に学ぶ経済集中講義』(集英社/2016)他多数

開催概要	
回数: 全5回	
定員: 15名	定員を超えるご応募があった場合は抽選で決定します。
時間: 19:00～20:30	
受講料: 5回一括のみ 50,000円	
講義: 1～4回 講師への質問を講義中に発表していただけます。	
第5回 受講生スピーチ大会	2～5回のテーマは講義終了時に講師から発表されます。
*お申込み締切 4月14日(金)17時	

講師 **ほさかまさやす 保阪 正康**



ノンフィクション作家・評論家
日本近現代史研究者

1939年北海道生まれ。1963年同志社大学文学部社会学科卒 「昭和史を語り継ぐ会」主宰 昭和史の実証的研究のため、延べ4000人の人々に聞き書き取材を行い独自の執筆活動を行っている。2004年、個人誌『昭和史講座』の刊行で第52回菊池寛賞

受賞。天皇陛下の退位をめぐり政府が設置した「天皇の公務の負担軽減等に関する有識者会議」が行うヒアリング対象者に選ばれた。近著『田中角栄と安倍晋三 昭和史でわかる「劣化ニッポン」の正体』(朝日新書/2016)『日本人の「戦争観」を問うー昭和史からの遺言』(山川出版社/2016)

開催概要	
回数: 全5回	
定員: 100名	
時間: 13:30～15:00	
資料: 当日講師より配布いたします	
受講料: 5回一括のみ 15,000円	

「神学的思考とは何か？」

キリスト教神学には、他の学問と異なる独自の思考法がある。この思考法を身につけると、他の人には見えない事柄の背景が見えるようになる。また、人間についての洞察力がより深くなる。本講座では、チェコのプロテスタント神学者ヨゼフ・ルクル・フロマートカの著書『人間の途上にある福音』を読み解くことを通じて神学的思考の体得につとめる。

第1回
5/23
火

フロマートカの生涯(1)

ヨゼフ・ルクル・フロマートカ(1889～1969年)は、信仰告白的な伝記『なぜ私は生きているか』を最晩年に上梓している。1947年までを扱いナチズムとプロテスタンティズムの関係を考える。

第2回
6/27
火

フロマートカの生涯(2)

1948年から69年までを扱い、フロマートカの「コンスタンティヌス時代の終焉」という考え方や、現実存在する社会主義に対する態度、無神論者にとってのイエス・キリストの意味について考える。

第3回
7/25
火

召命について

フロマートカは、召命を重視する。神から呼び出されるということがどういうことで、それに対して人間にはどのような選択肢があるかについて考える。召命における固有名詞の重要性に対する理解を深める。

第4回
8/22
火

「神の言葉」について

フロマートカは「神の言葉」の再発見を神学の中心に据えるが、カール・バルトの認識との間にどのような共通点と相異点があるかについて考察する。神学における弁証法の意味について考える。

第5回
9/26
火

三一論(三位一体論)について

フロマートカの三一論の特徴について学ぶ。秘密にされている神の英知という三一論理解が、神秘主義とどう異なるかについて正確に理解する。この関係でパウロ解釈が鍵になることを理解する。



講師 さとう まさる
佐藤 優

作家・元外務省主任分析官 同志社大学 神学部客員教授
1985年同志社大学大学院神学研究科修了後、外務省入省。主任分析官として対ロシア外交の最前線で活躍。2009年外務省を失職。2005年「国家の畏 外務省のラスプーチンと呼ばれて」で第59回毎日出版文化賞特別賞を受賞。2006年「自壊する帝国」で第5回新潮ドキュメント賞、第38回大宅壮一ノンフィクション賞を受賞。『獄中記』『同志社大学神学部』など著作多数。最新刊『大國の掟 「歴史×地理」で解さほぐす』(NHK出版新書/2016)『いっしょに学びなおす日本史 古代・中世・近世 教養編』(東洋経済新報社/2016)

第6回
10/24
火

悪について

神が創造したこの世界に悪が存在することについて、神は一切責任を負っていないことを明らかにする。悪の起源が人間の自由意志にあるということに対する理解を深め、悪の脱構築について考える。

第7回
11/28
火

受肉について

神が人間の悲惨さの「最も深い深淵」にひとり子を派遣したことが、人間の救済の根拠であるという考え方に対する理解を深める。フロマートカに与えたルターの影響について考察する。

第8回
12/19
火

和解について

原罪を負っているために自分が欲している善は行うことができます。悪ばかり行っている人間が、どのようにして神と和解できるかについての理解を深める。フロマートカに与えたパウロの影響について考察する。

第9回
1/26
金

教会について

教会は「神の国」を先取りし、救済を保証するはずであるにもかかわらず、現実存在する教会の中で、抗争や権力闘争が起き、滅びに定められているような人々がいるかについて考察する。

第10回
2/23
金

終末について

歴史の意味と人間の希望についての理解を深める。イエス・キリストが、歴史の最初と最後にいるということの意味に説明し、「急ぎつ、待つ」という生き方の妥当性について考察を深める。

開催概要

■2017年5月～2018年2月までの通年講座です。

回数:	全10回	定員:	100名
時間:	18:30～20:00		
受講料:	10回一括のみ 30,000円		

教材: ヨゼフ・ルクル・フロマートカ(平野清美訳/佐藤優監訳)『人間の途上にある福音 キリスト教信仰論』(新教出版社、2014年)、ヨゼフ・ルクル・フロマートカ(佐藤優訳)『なぜ私は生きているか J・L・フロマートカ自伝』(新教出版社、2008年オンデマンド版)、**聖書**(日本聖書協会による新共同訳、旧約聖書統編を含む引照付きを強く推薦する)を毎回持参すること。*各自でご用意ください。

講座に関する注意事項

- 各講座とも定員になり次第、受付を終了いたします。
- 受講料のお支払い
指定の講座以外は、講座当日に受付でお支払いください。
- 「おもてなし感を演出、あなたもできるやさしい英会話」「ダイアログから学ぶ英文法と実践英会話」は事前振込み制です。
- 開講後もしくは振込み後は、受講料の払い戻しはいたしません。
- 万が一、開講出来ない場合は開講の1週間前までにお申込みいただいた方にご連絡いたします。
- 開講が決まりましたら、事務局より受講票を郵送いたします。
- 受講票(ハガキ)は1講座1枚です。受講時に受付にお出ください。
- 全回ご出席の方には「修了証」を最終回にお渡しいたします。(Doshisha Evening Academyを除く)
- 休講・補講
1、講師の都合および事故、台風、天災、交通機関ストライキ等によりやむを得ず休講する場合があります。
2、休講が事前に判明した場合は同志社大学 HP および同志社 TOKYO HUB サイトに掲載の上、各個人にメールにてお知らせし、補講等の対応をいたします。
- 受講時は
1、講義中は携帯電話の電源をお切りいただくか、機内モードにしてください。
2、講座の録音、録画、写真撮影は講師の許可がある場合を除き禁止です。

「おもてなし感を演出、あなたもできるやさしい英会話」

講師 **前田 久美** まえだ くみ

英会話の知識が少しあり、リラックスした雰囲気の中で楽しく英会話にふれる機会をお探めの方、外国人との会話で簡単に役立つ表現を学びたいと思っている方にお薦めの講座です。講義のキーワードは「おもてなし」です。状況に応じたやさしいフレーズをいくつかマスターしていきます。外国人に伝えたいことを自分なりにやさしい単語に置き換え、それを自分の「ことば」で外国人に伝える表現を考える」作業を繰り返すトレーニングで身につけていきます。ネイティブがよく使う相槌なども使い、上手に会話を転がしていくTipsにもふれます。ペアワーク、ディスカッションで受講生が主役の90分です。

第1回	5/10	水	第8回	6/28	水
第2回	5/17	水	第9回	7/5	水
第3回	5/24	水	第10回	7/12	水
第4回	5/31	水	第11回	7/19	水
第5回	6/7	水	第12回	7/26	水
第6回	6/14	水	第13回	8/2	水
第7回	6/21	水	第14回	8/9	水

<90分の進行例>
●ウォーミングアップ 季節やトピックをテーマに身近な会話→
●レビュー ホームワークチェック→
●メインアクティビティ
●ロールプレイ グループワークでシチュエーションづくり→
●ホームワークアサイン
<メインアクティビティの例>
☆あいさつ 話し方の工夫としてのアクセント、ジェスチャー、表現、スピード、あいづちなどを紹介。話す時の話題の優先順位をもとに会話練習。
☆イメーショナルトレーニング 顔に浮かんだ言葉をいろいろに変換し、やさしい表現で伝えることに繰り返しチャレンジ。
☆カンパセーション いくつかの同じ意味を持つ語彙を取り上げ、それらの使い方を知り表現の幅を広げる。



開催概要

回数:	全14回	定員:	15名
時間:	15:00～16:30		
受講料:	14回一括のみ 28,800円 + 参考教材 1,728円 消費税込み		

参考教材:『やさしい英語で日本の魅力を詳しく伝える』ジェームス・M・バーダマン(明日香出版社刊)

「ダイアログから学ぶ英文法と実践英会話」

講師 **前田 久美** まえだ くみ

英語の知識は多少あるけれど、アウトプットが思うようにいかない。英文法も含め、英語学習を再スタートしたい、またはブラッシュアップしたいとお考えの方にお薦めです。「毎週トレーニング 継続」をキーワードに、日常会話で使う表現をダイアログから学びます。カンパセーションを中心に文法・発音・リーディング・ライティングを効率よく学習していきます。「知っている英語」から「使える英語」へ。自分の「ことば」で英語を発することで表現力を身につけていきましょう。

第1回	5/10	水	第8回	6/28	水
第2回	5/17	水	第9回	7/5	水
第3回	5/24	水	第10回	7/12	水
第4回	5/31	水	第11回	7/19	水
第5回	6/7	水	第12回	7/26	水
第6回	6/14	水	第13回	8/2	水
第7回	6/21	水	第14回	8/9	水

<90分の進行例>
●ウォーミングアップ 身近な出来事を短いフレーズで。→●レビュー 前回のポイント再確認とホームワークチェック。→ ●メインアクティビティ ポイント・練習・基礎固めをテキストに沿って行います。<例>交通機関をテーマに、会話組み立て、語彙の例、発音(音節とアクセント)など。仕事で利用中の交通機関にトラブル!訪問先へはどう伝える?失敗しない電話での断り方は?電話を切る前の社交辞令[It's been a pleasure talking with you.]リスニング(海外の交通事情の記事を聴き、解答)、ディスカッション(住んでいる都市の交通機関について)、ライティング(自身の意見を文にする)、ダイアログ～スピーキングをグループでロールプレイを行います。
●応用編 設定したシチュエーションに基づいたグループワーク →●ホームワークアサイン

開催概要

回数:	全14回	定員:	15名
時間:	18:30～20:00		
受講料:	14回一括のみ 28,800円 + 教材 3,024円 消費税込み		

教材: Interchange Level 2 Student's Book with Self-study DVD-ROM. 4th ed. (Interchange Fourth Edition) 出版社: Cambridge University Press; 4版

■お申込み方法

**受講料事前振込み制です
ご注意ください**

- 1、開講最低人数のお申込みがあり次第、「申込み受付書」及び「振込み依頼書」を郵送いたします。
- 2、「振込み依頼書」が到着しましたら指定日までに受講料と教材費を指定口座にお振込みください。期日までに受講料のお支払いが完了しない場合、受講をお断りする場合があります。
- 3、入金完了後、約1週間を目安に「入金完了報告」「講座受講票」を送付いたします。振込み受領証は講座終了時まで保管してください。
- 4、受講申込み時に教材を希望された方には講座開始日に受付でお渡しいたします。
- 5、参考教材、教材をすでにお持ちの場合、もしくはご自分で用意される場合は、申込み時に教材不要欄にチェックを入れてください。



講師 まえだ くみ
前田 久美

英語講師
インターナショナルスクール高校課程卒業後、米国大学で秘書課を専攻。帰国後企業勤務を経て英語講師に。以来20年以上英語教育に携わり、大学や大手企業で幅広い層のクラスを担当。明るく分かりやすい授業と英語力を定着させる指導力に定評がある。